

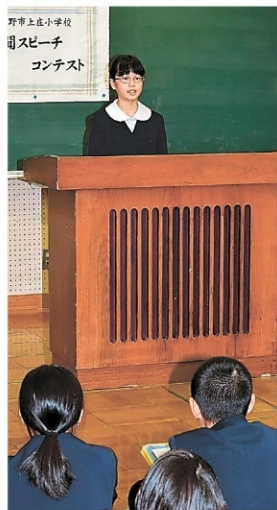
# 記事の感想 児童熱弁

## 大野・上庄小でコンテスト



大野市上庄小で6日、新聞記事を読んだ感想や意見を発表する「新聞スピーチコンテスト」が開かれた。校内の予選会を通った6年生6人が県内の話題や貧困、差別などさまざまなテーマを取り上げ考えを主張した。

4～6年生が11月に縦割りの6班に分かれて予選会を行い、各班の代表者がこの日の本選会に臨んだ。韓国の人気男性デュオ



新聞記事について感想や意見を発表する児童  
＝6日、大野市上庄小

のメンバーが福井県の恐竜ブランドキャラクター「インスタグラム」に投稿し、ぬいぐるみが品切れになったことを記事で知った児童は、有名人の情報発信力について発表した。児童は「どんなに商品が良くてみんなに知ってもらわないと意味がない」と解説。「福井の知名度につながり、自分のことをもっと知ってもらおうチャンス」と結んだ。

また飲酒運転の怖さを伝える記事を読んだ児童は「酒を提供した人も逮捕され驚いた。マナー、ルールを守る自分でありたい」と述べた。このほかアフリカの貧困や性的少数者(LGBT)などに関する発表があった。最優秀賞には白崎愛唯さん、優秀賞には寺西夏琉さん、廣田愛来さんが輝いた。(寺島賢哉)